

名古屋工業大学 音楽プロジェクト

第1回 『語るように歌え—Singing is Talking』のお知らせ

日時：2016年3月26日(土曜日) 13:00～15:00(予定)

場所：名古屋工業大学4号館1階ホール

入場無料

本プロジェクトは、世界各国、様々なジャンルの音楽の息遣いや身体の動きに触れて、各言語の表現の基盤となる心的・身体的側面について考察するために企画しました。第1回は東洋ミニマリズムの対極ともいえるオペラを題材に、世界各国で活躍されているオペラ歌手の方をお招きしてイタリアオペラの世界(朗唱と演技)をお届けします。

出演

ヴィクトル・ガルシア・シエラ (バスバリトン歌手) Victor Garcia Sierra

モーツァルト国際コンクール、アルフレード・クラウス声楽コンクール、フランシスコ・ビニャス国際声楽コンクール、エンリコ・カルーゾ国際声楽コンクール他数々の国際声楽コンクールにて優勝入賞後、イタリア、フランス、スペイン、モナコ公国、スイス、オーストリア、アメリカ、ブラジル、ペルー、ベネズエラ、コロンビアと世界各国の歌劇場にて、ホセ・クーラ、レオ・ヌッチ、レナート・ブルゾンと共演し、フランコ・ゼフィレリ演出、ズービン・メータ、ダニエル・オーレン指揮にて「椿姫」「リゴレット」「愛の妙薬」他を歌う。ヴェローナ・アレーナ野外歌劇場の常連歌手として毎年数々のレパートリーを歌い、世界各国にて活躍。演出家としての才能も認められイタリア、スペイン各歌劇場や南アメリカでのオペラ演出も手がける。

柳沼 裕美 (ソプラノ歌手) Yumi Yaginuma

武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業後、イタリアのパルマ音楽院にて学ぶ。ファルスタッフ国際声楽コンクール、ローランド・ニコロージ国際声楽コンクール、ムジカアトリ・ヨーロッパ音楽コンクールにて最優秀賞受賞。「ラ・ボエーム」のムゼッタ役でイタリアアジオリ歌劇場デビュー、「リゴレット」ジルダ役、「愛の妙薬」アディーナ役、「椿姫」タイトルロールのヴィオレッタ役で成功をおさめている。ダライ・ラマ来伊歓迎会にも主賓として歌い、イタリアのテレビ番組にもゲストとして度々出演。イタリア、フランス、スペイン、スイス、ハンガリー、モナコ公国等ヨーロッパを中心に活躍。ナウシカオペラインターナショナルの芸術監督としてオペラ、コンサートプロデュースにも携わる。イタリア在住。

甚目 裕夫 (音楽監修、ピアノ) Hiro Hadame

名古屋出身。国立音楽大学、同大学院修了。ピアニストとしてイタリアの巨匠たちと共演を重ね薫陶を受ける。世界的に著名なオペラ歌手との数多い共演から、国際的視点で豊田市コンサートホールをはじめ各地のホールでオペラのプロデュース、音楽監督、演奏、歌唱、執筆と幅広い活躍をする。声楽のマスタークラスには定評があり、韓国大邱啓明大学にも招待されている。この他、イタリアザンドナイ国際コンクール審査員、イタリア中部地方ファブリアーノ復興プロジェクトの委員を務めるなど、国際的な信頼を得ている。近年は独創的なオペラ企画、コンサートプロデュースも行っている。庄内映画村音楽プロデューサー、早稲田大学国際教養学部非常勤講師(オペラ講義担当)。

高井 一 (ナビゲーター) Hajime Takai

京都出身。同志社大学卒業後、東海テレビ入社。東海テレビアナウンサーとして、主にニュース番組を担当していたが、現在はレポーターやコメンテーターとして活躍。名古屋大学大学院修了。2015年4月、名古屋工業大学・特任教授に就任。

名古屋工業大学花田公園前アンサンブル(名古屋工業大学管弦楽団有志) ほか

お申込み、その他問い合わせ：松浦千佳子(名古屋工業大学准教授) matsuura.chikako@nitech.ac.jp